



## 2021 年度草津市国際交流協会総会

2021年4月10日(土)、草津市国際交流協会の2021年度総会を草津市役所8階大会議室にて開催しました。昨年は、コロナ禍により書面決議での総会となったため、会場での開催は2年ぶりでした。

総会には正会員70名中25名が出席され、30名の委任状と合わせて55名の出席となり、総会が成立していることが報告されました。

開会にあたり草津市国際交流協会の南会長より挨拶があり、「昨年度からのコロナ禍により、協会活動が大きく制限され、特に国際交流・国内交流部会では姉妹都市・友好都市との交流が実施できなかった。国際理解部会の活動もインタラクティブ・イングリッシュ(旧英語サロン)は前期が中止となり、後期のみで開催となったが、恒例のJICA 帰国隊員報告会はZoomで開催し49名もの方に参加いただいた。多文化交流部会は、通常の日本語ひろばは、全てオンラインでの開催になったが、ボランティア、生徒さんが積極的に活動してくれ、通年を通じた活動が継続できた。又、やさしい日本語サロンも、UDCBKさんの協力を得て、対面式とオンラインを効果的に組み合わせ、これも通年の活動となった。広報部会は、活動の制限に伴い、KIFAスクウェアの発刊も2回になってしまった。KIFAとしては、日本語ひろば「きずな」10周年記念動画上映会を開催できたのと、湖南省ロータリークラブ、湖南省国際協会との共催で「身近な法律ハンドブックの多言語化として、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語版の発刊が出来た。また入管法改正に伴い、益々増えていく事が想定される外国人との多文化共生を進めていくことが、KIFAの重要な使



命であり、皆さんの協力をお願いする」と話されました。

その後、来賓としてお越しいただいた草津市の辻川副市長より「草津市国際交流協会として様々な取組に注力し草津市の国際化に対する取組への感謝が述べられ、今後増加するであろう外国人との協働による地域共生社会の実現に向けての、草津市国際交流協会の積極的な取組が期待されていること」が話されました。

議事自体は第1号議案「2020年度事業報告について」、第2号議案「2020年度会計決算」、第3号議案「協会規約改正」、第4号議案「役員人事」、第5号議案「2021年度事業計画について」、および第6号議案「2021年度会計予算」が審議され、全議案とも無事に総会の承認を受けました。

なお、昨年度の総会ではグエン・フー・バン理事(ベトナム出身)が、昨年度の期中に山本美奈理事(立命館大学)が、又今年度の総会で内山礼子理事、エムシャムラット・オラパン理事(タイ出身)が選出されました。この4名の理事は多文化共生部会を担当されます。

(草津市国際交流協会 事務局長 浦 幹夫)



# やさしい 日本語サロン

UDCBK との共催で活動を継続しています。原則月 1 回はオンラインで、残りは UDCBK で少人数での対面式で開催しています。対面式は火曜日の 10:20 ~ 12:00 で開催しています。

## 第 3 回 7月6日(火) やさしい日本語講座

2020 年度からこれまで、やさしい日本語講座を 3 回実施しました。留学生や、地域で生活する外国人、日本人の方も参加していただき、やさしい日本語の基本的な知識やどのような言葉がやさしい日本語になるのか等、アクティビティもおりませながら共有させて頂きました。まだまだ自分自身も勉強中なのですが、知れば知るほど、これからの多文化共生社会に必要な言語であると感じています。やさしい日本語を使えば、英語や他の言語が話せなくても、少しの工夫と相手への配慮で、情報や思いをお互いに伝え合うことができます。最近増えてきた災害や緊急時など、いざという時に助け合えるように、知識として備えておくのも大事だと思います。今後もみなさんと一緒に学び、共有していけるよう活動していきたいです。

(KIFA 会員 安居真菜美)



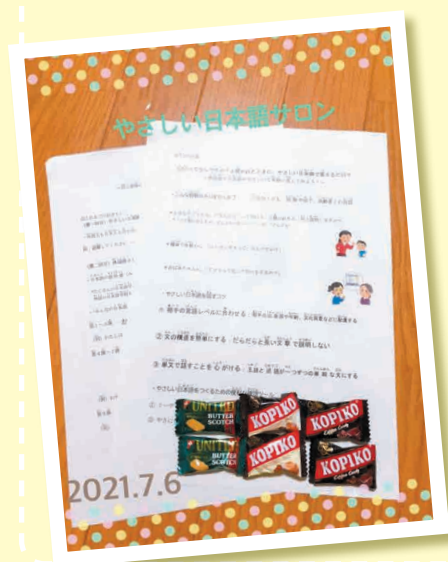
私が多文化共生に関心を持ったのは、小学 3 年生で草津を離れて中国・上海市に移住した経験がきっかけです。言語や文化の違いは知的好奇心を刺激し、異国の地での生活を充実させてくれましたが、一方で、それらは時としてストレスになり、望郷の念をかき立てさせられました。帰国後、自身の経験から県内の在住外国人支援や多文化共生の推進に携わりたいと思うようになりました。そのような中で耳にした「やさしい日本語」とはいったい何なのか知りたくなり、安居さんの講座に申し込みました。

講座の中では「やさしい日本語の正解は一つとは限らない」という点が強く印象に残りました。伝えるべき相手の年齢や国籍、語学能力の程度に応じた表現で伝えることが大事なようです。例えば、分かりやすく伝えようと使いがちな擬音語やカタカナ語ですが、実はそれらは逆効果であることを教えてくださいました。講座内でやさしい日本語への変換を試みましたが、適切な表現の選択はなかなか慣れないと難しいというのが率直な感想です。

また、外国人の日本語能力を示す指標について情報提供をしていただいたり、就労や受験の苦労話などを一緒に参加された外国籍の方との話から伺えたりしたことも大きな収穫でした。

本当に濃い内容で、楽しく有意義な講座でした。ありがとうございました! 今後も「やさしい日本語」を学びつつどんどん実践し、周囲への普及に努めたいです。

(イベント参加者 神戸大学法学部 志賀 慎之介)



みんなで

6月22日(火)

## ハスの絵を書いて応募しよう

毎週火曜日の午前中にUDCBKでは、草津市国際交流協会（以下「KIFA」という。）との共催で、「やさしい日本語サロン」を実施しております。コロナ禍の中での実施のため、今まで通りの事業は出来ず、オンラインを活用したり人数制限をしたりと感染対策を講じながら進めておりますが、外国住民の方に、草津を知ってもらいまちづくりに関心を持ってもらおう！そして何より楽しんでもらおう！と、言葉が通じにくくても出来る事をKIFAの方々が色々なアイデアを創出してくださっています。

このアイデアの中から、せっかくなら草津市が実施しているイベントに参加して草津を身近なものに感じてもらおうと、草津市立水生植物公園みずの森が企画された「草津に咲かせよう蓮の花」に、みんなで作品を応募する事になりました。

実施当日は、何を作ったらいいですか？蓮の花はどこに行けば見られますか？と話しながら、折り紙で蓮の花を折ったり、書や水彩画を描いたり、参加された皆さんが色々な手法で、美しい蓮の花の作品を作られていました。そんな生き生きとした姿に見とれていたなら「一緒に参加しませんか？」と声をかけていただきました。利用者の方から声をかけていただく大変嬉しく、私も作品を作り一緒に応募していただきました。

これからも人と人の繋がりを大切にしながらKIFAの方と共に、少しでも多くの方々に興味を持ってもらい参加してもらえるような企画を考えていきたいと思っておりますので、御興味のある方は是非「やさしい日本語サロン」を覗いてみてください。

(アーバンデザインセンターびわこ・くさつ参事 中瀬 明美)



夏休み

8月17日(火)

## 留学生イベント

コロナ禍での夏休み、留学生たちはあまり旅行等も行けず、日本に来て間がない留学生たちは特に孤独になりがちでした。

そんな中、留学生からのリクエストで俳画ワークショップ（絵を描いてそこに俳句を添える）を企画しました。実際にはそれぞれが好きな絵をかいて、そこに添える俳句の簡単なルールを学びながら交流しました。

とても素敵なオリジナル作品ができました。また市民の方からKIFAにいただいた【こけし】も渡すことができ、久しぶりに対面でみんなの笑顔が見られたことがうれしかったです。

(KIFA 副会長 中西 まり子)

It was a pleasure to participate in the summer origami event. It was a fun-filled event, as I was able to express my creativity and develop new artistic skills. My best painting was a pineapple flower. I also enjoyed socialising with my Japanese language instructors, and other students.

(立命館大学大学院 修士課程 経済学研究科1年  
ジンバブエ出身 Diana Musarurwa)



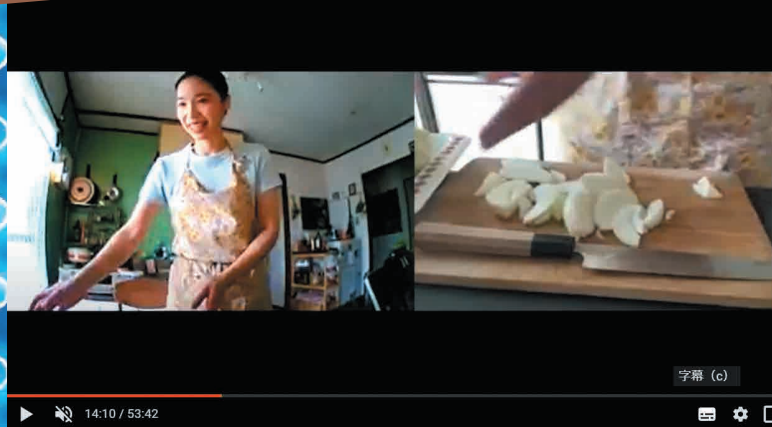
やさしい日本語サロン

～ KIFA のおうち DE チャレンジクッキング～

モロッコ料理を



作ろう



8月24日にオンラインでやさしい日本語サロンを開催しました。サロンでは、昨年より月に一回 Zoom を活用してUDCBK と共催でさまざまなゲストスピーカーをお招きしています。今回は、JICA（国際協力機構）滋賀デスクに協力いただき「モロッコの国とお料理を知ろう」「自宅でモロッコ料理を作ろう」をテーマに元 JICA 料理隊員の露口さんを講師に自宅から Live 配信で行いました。

初めての試みでしたが、パワーポイントによるモロッコの国の紹介、活動されていた仕事のこと、そして実際にクスクスとハリッサを使ったモロッコ料理を説明しながら手際良く仕上げてくださいました。参加者からは、予定時間を過ぎても活発な質問が飛びました。海外へ行くのが難しい昨今ですが、中東を身近に感じられる有意義な時間でした。

また、今回は2週連続イベントで、モロッコ料理を実際にご提供してもらおうと参加者にクスクス（世界最小の pasta）とハリッサ（中東の唐辛子ベースの辛味調味料）を KIFA より提供しました。自宅で料理に挑戦して、写真や動画を送ってもらいました。どれも美味しそうな料理が出来ました。平日の参加が難しい会員の方にもアーカイブ配信で参加していただくことが出来たのは、これからのサロン運営の新しい可能性の発見となりました。

今回のイベントにあたり、多大なご協力をいただきました JICA 滋賀デスク、緊急事態宣言で材料の手渡しが困難になる中、迅速に発送のご手配を下さいました事務局に感謝申し上げます。

(KIFA 理事 内山 礼子)

やさしい日本語サロンのスタッフとして活動し始めてまだ間もないのですが、8月24日の Zoom では1参加者（オーディエンス参加）として、楽しませて頂きました。

講師の露口さんのモロッコについての説明は端的で分かりやすく、生活習慣や食事文化に関する内容は、写真と共にとっても興味深いものでした。クスクス料理の調理方法はもちろん、ハーブや調味料・マーケットの様子など限られた時間の中で、たくさんのお話を聞く事ができました。蓋の形状が違うタジン鍋や、ミントティーを作るための、ディズニー映画に出てくるような銀色の装飾ポットも紹介して頂きました。Zoom 撮影の助手をされていた桂さんとの仲睦まじい様子も拝見でき、和やかな雰囲気のもとあっという間の1時間でした。

後日、いただいた材料を使って初めてモロッコ料理に挑戦しましたが、アーカイブ動画と露口さん作のかわいいイラスト付きレシピのお陰で、想像以上に美味しく仕上がりました。

その国の食文化は、国の成り立ちや国民性・風土・歴史などに依るところが大きいと思います。今回作ったクスクス料理の、野菜の優しい甘さやハリッサ（香辛料）の辛さから、モロッコの生活環境や人々の大らかさ・厳しさなどを垣間見る事ができたような気がします。Zoom と料理の二つのイベントを通して、モロッコという国に少しですが濃く触れる事ができたと思います。

コロナ禍で急速に普及した Zoom は、オンライン旅行や今回の企画のように、地球にやさしい方法で文化交流ができる SDGs の理念に沿った、一つのツールでもあったと思います。

(KIFA 会員 山本 牧江)

KIFA のおうち DE チャレンジクッキングに参加のみなさんが、ご自宅で調理した写真をお寄せくださいました！



# KIFA

## 日本語ひろばオンライン

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、昨年夏からオンライン日本語教室「日本語ひろばオンライン」を実施しています。生徒は、近隣在住の外国人や、過去にKIFAの日本語教室に参加したことのある方で、帰国された方など約40名が登録されています。



私はベトナム人のアインと申します。2年間日本で働いてました。日本語を勉強したくて、友達に相談したところ、KIFAを紹介してもらいました。

コロナの影響でオンラインになってしまいましたが、たくさん勉強させて貰いました。オンラインですが仲間や先生達と一緒に勉強出来たのは本当に楽しかったです。KIFA ひろばオンラインでは、日本語はもちろん日本の文化も学べます。

私は以前、日本人の話す日本語が分からなくて仕事で失敗したことがあり、日本語に自信がなくなりました。でも、KIFAでは仲間と文法や単語を教え合いながら、楽しく勉強出来たことで自信がついてきました。



オンラインで授業して下さいますので、ベトナムに帰国した今でも参加でき、本当にありがたいです。日常会話は出来るようになってきましたが、日本語で仕事はまだ出来ませんので、出来るようにもっと日本語を勉強したいです。

KIFAのおかげで、たくさん成長することができました。これからもよろしくお願致します。

(KIFA 日本語ひろば生徒 ベトナム出身 チャン・ティ・アイン)

## デイビッド先生の インタラクティブ・ イングリッシュ

5月10日から7月12日まで期間で、毎週月曜日の午前中にデイビッド先生の英会話教室を全10回講座として開催いたしました。デイビッド先生が楽しい雰囲気を作ってくださいるので、参加者のみなさんにはとても楽しくご参加いただけました。また、7月5日にはインド人留学生のシュウエタ・シヴァンナさんを招待して、英語でインドの国を紹介していただきました。



On July 5th this year, I had the wonderful opportunity to join the English conversation class organized by KIFA. The lively and friendly atmosphere created by the students and the teacher Mr. David was wonderful to see. I introduced some parts of South Indian culture and traditions and the students also asked me many questions about it. I was amazed to see everyone's passion and interest to learn and speak English. Some students also told me about Indian art which I didn't know about, for example- Gond art! Another student told me about the first Indian elephant that was gifted to Japan. They also asked me about my experience in Japan and my view on Japanese culture. It was a good chance to share our opinions on various topics and talk about it. Not only did I enjoy the class, but I could learn many new things from them. Although the time was short, it was really nice to get to know everyone. I think this conversation class is a good opportunity to not only practice and improve English skills but also to just communicate with people and have fun! I'm very grateful to KIFA staff for organizing such a program to support the community. I hope to participate in this class again. Thank you!

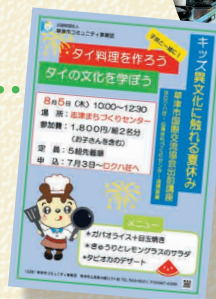
(立命館大学理工学部環境都市工学科研究生 インド出身 シュウエタ・シヴァンナ)

## 「タイ料理を作ろう タイの文化を学ぼう」

ロクハ荘と志津まちづくりセンター共催の夏休み親子イベントに、タイ出身のエムシャムラット・オラパンさん(KIFA 理事)と関シラパットさん(KIFA 日本語教室生徒)が講師として参加されました。タイ料理を作ったり、スライドを使ってタイ文化を紹介したりしました。

ロクハ荘さんから出前講座の依頼をいただいて8月5日に子ども向けタイ料理教室を開くことになりました。イベントの料理講師は未経験ですし、タイ出身とは言うものの、タイにいた時はほとんど料理をしたことがなかったので、お話をいただいたときはかなり迷いました。やはり多くの人にタイのことを少しでも知ってもらいたいという思いが強く、不安ながらも受けさせていただきました。

イベントは料理講座と、スライドを使ったタイについてのプレゼンという2時間半のプログラムでした。料理は定番メニューの「鶏肉のホーリーバジル炒め(ガバオライス)」に、火を使わず食材を切って和えるだけの「サバ缶の生レモングラス入りサラダ」と、ルビーのような鮮やかな赤色のデザート「りんご入りアイスシロップ」にしました。子ども向けということなので、タイ料理の特徴のひとつである辛い料理を避けました。また、コロナ禍での開催なので、作った料理をその場で食べず持ち帰りすることを想定し、カレーなど夏の暑さで傷みやすいココナッツミルクを使わない料理にしました。プレゼンについては、国の紹介



も初めてなので内容がなかなか決まらず、迷走している私を見てタイにいる親友がレシピ作成などを手伝ってくれて、無事に準備が出来ました。

イベント当日は、タイ料理が得意な草津市に住むタイの女性、関シラパットさんに手伝っていただきました。昔、料理教室に通った時の経験を思い出しながら進めましたが、やはり初めてなのでスムーズにいきませんでした。ずっとバタバタしていたのでゆっくり参加者一人一人を見られませんでした。自分より手際良く包丁が使える小さいお子さんがいて驚きました。タイ料理をよく知らない方が多かったのですが、皆さん楽しそうに作ってくれて、美味しいと言って食べながらプレゼンを聞いてくれて、ホッとしたと同時にやって良かったと嬉しく思いました。初めてのことでばかりで最後まで色々大変でしたが、このような機会をくださったロクハ荘さんには感謝しかありません。間違いなく大変貴重な経験になりました。また機会があれば、このようにタイのことを知ってもらえる活動をもっとしたいと思います。

(KIFA 理事 エムシャムラット・オラパン)

## 渋川小学校での異文化紹介

6月23日、KIFAの出前講座として、渋川小学校(3年生)にて国際理解講座を行いました。

この講座の目的は、子どもたちがほかの国のことを知り、その国と草津との違いや草津の良さなどについて考えることでした。近隣在住の藤田アニコーさん(ハンガリー出身・KIFA国際理解部会長)と卓ケイギさん(台湾出身・KIFA会員)に、お二人の国の地理や文化、学校のことなどについてお話しをしていただきました。

6月23日、渋川小学校へ行ってまいりました!!

台湾出身で、草津に(十年)住んでいるわたしから見た、「日本と草津」、「日本と台湾の日常や文化」などについて、子ども達の前で話をさせていただきました。

聞いてくれたのは三年生でしたので、どんな内容に興味がありそうかな、といろいろ準備をしていくうちに、台湾育ちのわたしでも今まで気づいていなかった故郷の良さや、今は日本にいる自分があらためて魅力を感じる草津の素晴らしさを知るきっかけとなりました。

KIFAにご協力いただき、

作成した資料を使いながら子ども達に発表しました。子ども達はキラキラした目で話を聞いてくれていました。メモを取りながら、興味津々に私の資料を見ていた表情がとても印象的でした。

コロナの影響で、海外に行くのが難しいこの時期に、少しでも海外の話聞いて雰囲気を感じられたらと思い発表しました。

後日、子ども達から質問や感想のお手紙をいただきました。その手紙を読むと、子ども達が話を聞いて驚いたり面白かった気持ち伝わってきました。

そして、わたしも子ども達からいろいろと気付かされました。

出前講座を提案してくださった関係者のみなさまにもこの様なすてきな経験をさせて頂き、大変感謝しております。ありがとうございました。

(KIFA 会員 卓ケイギ)



## KIFA 後援事業

### 第1回 草津ロータリー杯

# 英語スピーチ コンテスト



2021年12月5日(日)に、「第1回草津ロータリー杯英語スピーチコンテスト」が開催される予定です。草津ロータリークラブ/ローターアクトクラブ/インターアクトクラブ主催のこのコンテストは、草津市内では初めてとなる本格的な小学生向け英語スピーチ大会として計画されたそうです。

草津市国際交流協会ではこの事業に賛同し、「英語を学ぶ子供たちを応援したい」、「お一人でも多くの方にスピーチ大会のことをお知らせしたい」との思いから後援させていただき運びとなりました。

今回、草津ロータリークラブの馬場会長からスピーチ大会企画への思いを伺いました。

2020年4月から実施された「新学習指導要領」では、社会のグローバル化の進展に対応できる英語コミュニケーションが大切な学習内容となりました。小学3・4年生では「外国語活動」、5・6年生では教科「外国語(英語)」として位置づけられています。

このような流れのなか、地元ロータリークラブとして地域の子どもたちの英語に対する関心を高め、コミュニケーション力を培う一助として「英語スピーチコンテスト」を実施することを企画しました。

このコンテストが、子どもたちの日頃の学習成果を発表できる場となり、英語を学ぶ喜び、使う楽しさを感じ、自らのモチベーションを高める機会となること、そして他の子どもたちの発表を見合う事で、互いに学び、意欲を高め、自信と夢を持った国際人に成長してくれることを期待しています。

お知り合いの方にも声がけいただき、できるだけ多くの方にご応募いただければ幸いです。

(草津ロータリークラブ会長 馬場 勲)



#### 開催日

2021年12月5日(日)

#### 会場

聖パウロ学園 光泉カトリック幼稚園ホール

#### 部門

- ①(日本語と母語とする)小学1~3年生の部(個人・団体)
- ②(日本語を母語とする)小学4~6年生の部(個人)
- ③(日本語を母語とし、次の4つのうちの1つ以上に該当する)小学生(個人)

1. 海外に1年以上滞在し、帰国後2年以内の者
2. 両親のいずれかが英語圏の出身者であり、日常生活で英語を使用する者
3. インターナショナルスクールの児童
4. 学校で英語以外の科目も英語で授業を受けている者

#### 出場資格

草津市内に在住の小学生

#### コンテストの内容

- ①スピーチ  
(テーマは「My dream」でオリジナルの原稿)
- ②チャンツ、レシテーション、歌、スキット

#### 応募受付期間

9月15日(水)~10月20日(水)

※消印有効

応募者数が定員を上回る場合は、期間中であっても応募を締め切らせていただきますので予めご了承ください

#### 申し込み・ お問い合わせ

草津ロータリークラブ 英語スピーチコンテスト事務局  
〒525-0037 草津市西大路町4-32 クサツエストピアホテル内  
TEL: 077-564-9111 FAX: 077-564-9112 Eメール: kusatsurotary@gmail.com  
※申し込みはEメールもしくは郵送。申し込みフォームに記入の上申し込み

## お知らせ オンライン de 多文化交流会

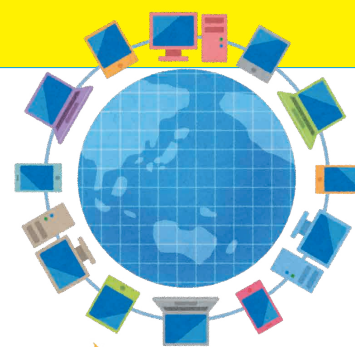
コロナ禍で、リアルに出会うことが叶わなかった皆さんと、オンラインで交流しましょう！

文化紹介やパフォーマンス、ゲームの他に、ブレイクアウトセッションでの少人数交流タイムも計画中です。

これまで KIFA の活動に関わっていただいた皆様も、これから多文化交流を始めたいと思っている皆様も、ご参加をお待ちしています。

参加には申し込みが必要です。

イベントの詳細は、11 月後半に KIFA のホームページでお知らせします。



■ **日 時** : 2021 年 12 月 19 日 (日) 13:30 ~ 16:00 (予定)

■ **開催方法** : オンライン (Zoom 使用)

■ **参加費** : 無料

※申し込み方法などの詳細は、11 月後半にホームページ等でお知らせいたします。

## お願い 年会費納入のお願い

平素より、当協会へのご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。当協会の活動は、みなさまからの年会費をもとに運営させていただいております。

KIFA 会員の方で、年会費を未納の方は、以下のとおり年会費の納入をお願い申し上げます。なお、当協会指定金融機関において、「文書扱い振込」の取扱いが廃止になったため、KIFA から送付しておりました振込用紙も今年度から廃止となりました。ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

■ **年会費** : 【個人・団体等】 2,000 円 / 1 口      【法人等】 10,000 円 / 1 口

※口数は、一口以上で任意です。

※当協会の規定により、年会費を 2 年以上滞納した場合は自動退会となります。

■ **納入期日** : 2021 年 11 月 30 日 (火)

■ **納入方法** : 以下のいずれかの方法にてご納入ください。

- ・当協会事務局窓口にて現金で納入
- ・当協会の支払口座へのお振込み (手数料は納入者様ご負担)

《 草津市国際交流協会 KIFA 支払口座 》

口座名義	草津市国際交流協会 会長 南 啓次郎		
金融機関名 口座番号	滋賀銀行 草津市役所出張所	普通口座	012384
	JA レーク滋賀草津支店	普通口座	0585996

※恐れ入りますが、金融機関でのお振込み手数料は、納入者様のご負担となります。

※当協会指定の振込用紙の利用は、都合により廃止となりました。